

えびの 市議会だより



今春、施設一体型として新たにスタートしたえびの市立上江小中学校

主な
内容

平成29年度の一般会計予算は総額 1 3 6 億 5 千万円

.....	P 3
各常任委員会審査報告.....	P 4～5
特別委員会審査等報告.....	P 6～7, P 17
各視察・研修会等の報告.....	P 8～9
一般質問（登壇14名）.....	P 10～16

6月定例会は6月1日開会予定です

3月定例会における議案等の審議結果

1. 議案等

会期：平成29年2月27日～3月22日（24日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第 1 号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	—
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	別段異議はない
議案第 1 号	監査委員の選任について	—	同 意
議案第 2 号	公平委員会委員の選任について	—	同 意
議案第 3 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 4 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 5 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 6 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 7 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 8 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 9 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 10 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 11 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 12 号	農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第 13 号	第5次えびの市総合計画後期基本計画の策定について	平成29年度予算等 審査特別委員会	原案可決
議案第 14 号	えびの市地域新エネルギービジョンの策定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 15 号	えびの市地域福祉計画・えびの市地域福祉活動計画の策定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 16 号	えびの市観光振興計画の策定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 17 号	えびの市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決 (13:1)
議案第 18 号	えびの市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第 19 号	えびの市税条例等の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第 20 号	えびの市介護保険条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 21 号	えびの市水辺の楽校条例の一部改正について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 22 号	えびの市小集落改良住宅条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第 23 号	えびの市奨学金貸与条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第 24 号	えびの市立学校条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第 25 号	えびの市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第 26 号	えびの市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第 27 号	えびの市立病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第 28 号	市道の路線認定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 29 号	平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第10号)について	平成28年度予算 審査特別委員会	原案可決
議案第 30 号	平成28年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第5号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 31 号	平成28年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第3号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 32 号	平成28年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第4号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 33 号	平成28年度えびの市水道事業会計予算の補正(第4号)について	総 務 教 育	原案可決
議案第 34 号	平成28年度えびの市病院事業会計予算の補正(第3号)について	総 務 教 育	原案可決
議案第 35 号	平成29年度えびの市一般会計予算について	平成29年度予算等 審査特別委員会	原案可決 (13:1)
議案第 36 号	平成29年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	産 業 厚 生	原案可決 (13:1)
議案第 37 号	平成29年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	産 業 厚 生	原案可決
議案第 38 号	平成29年度えびの市介護保険特別会計予算について	産 業 厚 生	原案可決 (13:1)
議案第 39 号	平成29年度えびの市水道事業会計予算について	総 務 教 育	原案可決
議案第 40 号	平成29年度えびの市病院事業会計予算について	総 務 教 育	原案可決
議案第 41 号	平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について	—	原案可決

2. 請願・陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
陳情第 13 号	平成22年度から、えびの市国際交流センター内で運営されていた自然食レストラン「のどか」について別紙の様々な疑念を調査、解明するため地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書	産 業 厚 生	不採択 採 択：2 不採択：12

平成29年度 えびの市一般会計予算は歳入歳出総額136億5千万円

平成29年3月定例会は、2月27日から3月22日までの24日間開催し、報告1件、諮問1件、議案41件、陳情1件の計44件を審議しました。結果は次項の審議結果表のとおりです。

計画等の議案

議案第13号 第5次えびの市総合計画後期基本計画の策定について

昨今の本市を取り巻く社会・経済情勢や市民ニーズの変化に適切に対応し、より実効性のある施策を実施していくため、平成29年度から平成33年度までの計画です。
(※詳しくは、P.6 平成29年度予算等審査特別委員会報告を参照下さい。)

議案第14号 えびの市地域新エネルギービジョンの策定について

循環型まちづくりを進めてきた本市において、今後さらに環境に優しい新エネルギーの導入促進、低炭素社会の実現に寄与するとともに、地域の活性化、産業の振興、市民生活の向上に繋げていくため、平成42年度までを推進期間とする計画です。
(※詳しくは、P.5 産業厚生常任委員会報告を参照下さい。)

議案第15号

えびの市地域福祉計画・えびの市地域福祉活動計画の策定について

地域住民の主体的な福祉のまちづくりへの参画を通して、本市に住む全ての人々が住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らし続けることができるまちづくりを推進するため、平成29年度から平成33年度までの計画です。
(※詳しくは、P.5 産業厚生常任委員会報告を参照下さい。)

えびの市観光振興計画の策定について

観光を取り巻く情勢の変化に対応し、観光施策を計画的かつ戦略的に推進するため、平成29年度から平成33年度までの新たな観光計画です。
(※詳しくは、P.5 産業厚生常任委員会報告を参照下さい。)

議案第16号

条例等の議案

えびの市奨学金貸与条例の一部改正について

奨学金貸与制度を拡充することにより利用を促進し、修学に伴う保護者の経済的な負担軽減を図るため、条例の一部を改正するものです。
(※詳しくは、P.4 総務教育常任委員会報告を参照下さい。)

議案第23号

議案第35号

予算関係の議案

平成29年度えびの市一般会計予算について

平成29年度えびの市一般会計の歳入歳出総額は、対前年度比6億9,500万円・5.4%増の136億5,000万円となります。歳入の財源割合としては、自主財源が35.6%、依存財源が64.4%となっています。
(※詳しくは、P.7 平成29年度予算等審査特別委員会報告を参照下さい。)

人事案件 (提案順)

- 人権擁護委員 渡邊 松夫さん
- 監査委員 白坂 良二さん
- 公平委員会委員 堀川 純一さん
- 農業委員会委員

谷口 克美さん	田方 説夫さん
尾山 實文さん	栗下 章二さん
竹下 助範さん	稲田 優さん
岩屋 美智子さん	田中 雄策さん
田上 みゆきさん	下原 小枝子さん

※農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員会委員の選出方法が議会の同意を要件とする市長の任命制となりました。

議案等の 審査

総務教育常任委員会報告

3月定例会において、当委員会に付託されました議案12件について審査を行いました。審査の結果、全ての議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

ためである。

② 議案第34号 平成28年度えびの市病院事業会計予算の補正(第3号)について

Q…職員数や給与費が減額になっている。医師及び薬剤師確保に関して、現在薬剤師については本来2名必要なところを1名で対応しているが、それで問題はないのか。募集の仕方、処遇はどうなっているのか。

A…今年度薬剤師募集について問い合わせは3件あったが、応募はない状況であり、薬剤師一人体制での体調不良などによる緊急的な対応策としては、薬剤師の処方は例外的に医師ができるものであるため、以前の例で担当医師の処方箋により調剤を行い対応した。また、処遇に関しては、以前の手当中の特殊勤務手当と比較すると、当病院は高い方であり、給料自体を引き上げると他の病院も独自給料は実施されていないため、一概に給料を上げるといっては他の公立病院等に与える影響も考慮すると慎重に行う必要がある。また薬学部に在籍する学生については、

ほとんどの学生が薬品会社や研究室を希望する状況である。医師確保対策については、今年度インターネットによる医師全国募集も新たに組み組んでいる。

③ 議案第39号 平成29年度えびの市水道事業会計予算について

Q…第2条業務の予定量のうち給水戸数と年間給水量について平成28年度当初と比較してどのようになっているか。また核家族が増えたことにより、給水戸数は増えていると思うが、今後はどのように見通しているか。

A…当初予算化で給水戸数が昨年は、8,525戸だったのが11戸の増、年間給水量については昨年度が196万5,660トンを見込んでいたので、若干の減となっている。また給水戸数の今後の見通しとしては、基本的にはやはり年々減少傾向という結果が出ているので、給水戸数もこれに影響を受けるものと理解している。

④ 議案第40号 平成29年度えびの市病院事業会計予算について

Q…平成29年度の予算は極めて厳

しい見通しであることは分かっていた。平成30年度の予算編成も考慮し、やはり見通しが立つ予算を計上しなければならぬので、このことは十分協議していく必要があると思うが。

A…以前も説明したが、設備更新計画を作成し、主に医療機器において、〈今更新しなければならぬもの〉、〈先送りできるもの〉を6年先まで計画している。また、今年度の院内会議において看護基準の見直しも行う、数千円の増収益に繋がるような高い目標に向かって取り組むことで決定している。その他にも、新公立病院改革プランに反映し、平成31年度を目途に地域包括ケア病床を取り入れる計画としている。これは既に動いており、これによっても数千円の増収益になると見込んでいる。そういったものが加味されてくれば、平成32年度あるいは平成33年度からは、単年度収支は黒字化できるものと想定している。

① 議案第23号 えびの市奨学金貸与条例の一部改正について

月奨学金貸与額の選択及び入学一時金の貸与を行い、奨学金貸与制度を拡充することにより利用を促進し、修学に伴う保護者の経済的な負担軽減を図るため、えびの市奨学金貸与条例の一部を改正するものです。

Q…現行の奨学金貸与制度の利用状況と、今回の改正内容で現行の半額の金額を規定した部分は希望する方のニーズに対応するために改正を行うものか。

A…現行の利用状況については30人の対象者がこの制度を利用している。また、現行の半額の貸与金額を規定した部分については、返還時のことを考慮する希望者のニーズがあったこと、また入学一時金についても大学等入学時の経済的負担に対応する

総務教育常任委員会

委員長 小東 和文

議案等の 審査の

産業厚生常任委員会報告

3月定例会では、議案13件、継
審査としておりました陳情1件に
つきまして去る3月8日、9日
2日間で審査しました。審査の結
果すべて議案は原案のとおり可決
すべきものと決し、陳情1件は賛
成少数で不採択とすべきものと決
しました。以下審査内容を報告し
ます。

① 議案第14号 えびの市地域新 エネルギービジョンの策定につ いて

Q 新エネルギービジョン策定の
必要性は何か。

A 原子力発電から安心・安全で
持続可能なエネルギー源である
新エネルギーの転換と合わせて、
各地域の資源を活用した導入の
推進が図られる今日、えびの市
は県内で唯一の地熱資源を有し
ている。国が推進する補助事業
を活用した新エネルギー開発が
増加することも予想される。事
業者主体で野放図に新エネルギ
ー開発が行われないよう、一定
のルールを定め、市の方針を明

示することが必要である。

② 議案第15号 えびの市地域福 祉計画・えびの市地域福祉活動 計画の策定について

Q 第三期目となる基本理念は何
か。

A 本市では、「お互いに助け合
い、楽しく話し合えるまち」を
基本理念とし、すべての人々が
住み慣れた地域で安心して自分
らしく生き生きと暮らし続ける
ことができるよう、地域福祉を
推進することである。

③ 議案第16号 えびの市観光振 興計画の策定について

Q 振興計画の策定が必要なのか。

A えびの市は平成27年に人口が
2万人を割り、人口減少が深刻
な局面を迎えており、今後えび
の市が持続的な発展をするため
には、自然や歴史文化など「え
びの市らしい」地域資源を活か
したまちづくりを推進する必要
がある。交流人口の増加、地域

経済の活性化が重要な事項で、
観光の現状や重要性を明らかに
した上で、平成29年度からの5
ヶ年間の計画を策定し、将来的
な展望と方向性を明確化し観光
振興計画を定める必要がある。

④ 陳情第13号 平成22年度から、 えびの市国際交流センター「の どか」について別紙の様々な疑 念を調査、解明するため地方自 治法に基づく百条委員会の設置 を要望する陳情書について

本陳情については、10項目にわ
たる疑問点および、残業代未払い
問題について百条委員会を設置し
て徹底究明していただきたいとの
陳情書であり、常任委員会として
審査できる権限は地方自治法第1
09条2項により、その部門に属
する当該地方公共団体の事務に関
する調査であり、百条委員会を設
置したとしても、同じく当該地方
公共団体の事務に関する調査しか
出来ないものである。本陳情書に
記載されている10項目の疑問点の
うち、1から8までは宮崎県の事
業であり、当常任委員会が審査で
きるのは9、10の疑問点のみとな
る。昨年12月の委員会審査時に担
当課への質疑を行い、答弁として
被害者3名の方と接触をし、本陳
情の内容を説明して、不満等があ
れば再度、労働基準監督署が相談
を受け付けるとの説明もしている。
今回の質疑では、その後新たな動
きがあったかを確認した。本件に
ついては、昨年8月に個別に接
触して合意書に基づき処理が行わ
れ、解決済みと認識しているとの
説明である。

これを受けて、本陳情の取り扱
いを協議した。えびの市観光協会
や市民協働課にも資料がないこと、
また、当該者に不満があれば労働
基準監督署に相談するように指導
していることから、これ以上委員
会として審査は不可能と判断し採
決の結果、賛成少数で不採択とす
べきものと決した。

産業厚生常任委員会

委員長 井上 義人

議案等の 審査の

予算審査特別委員会報告

平成28年度一般会計予算の補正

平成29年度
予算等審査特別委員会報告

3月定例会において、当特別委員会に付託された議案は、議案第29号平成28年度えびの市一般会計予算の補正（第10号）についての議案1件であり、1日間の日程で審査を行いました。

審査の結果については、討論もなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

今回の予算の補正については、各種事業の完了又は完了見込みによる不用額の減額が主なものです。



3月定例会において、当特別委員会に付託された案件は、議案2件で第5次えびの市総合計画後期基本計画の策定について、平成29年度えびの市一般会計の予算についてであり、4日間の日程で審査を行いました。

審査結果については、議案第13号第5次えびの市総合計画後期基本計画の策定について、議案第35号えびの市一般会計予算についての議案2件は、いずれも討論もなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、議案ごとに審査の内容の主なものを報告します。

議案第13号第5次えびの市総合計画後期基本計画について

Q…林業の振興について、目標指標の新規林業就業者数の現状値が2人で後期目標値が10人だが、

重点的に取り込むのはどの事業か。

A…林業活性化事業が該当する。

Q…行財政改革の推進について、目標指標の自主財源化率の目標値として33・9%については。

A…今後財政規模は縮小すると見込んでおり、当然歳入の減少も推測されるが、財源の内訳として、市税収入や交付税等の減少と同時に基金からの繰入金割合が増えてくれば、自然と自主財源比率が上昇する見込みで考えている。

Q…財政の現状の厳しさにおいて、基金等の取り崩しなどによる繰入金恒久的財源とはならない財源であり、どうなるかわからない。総合計画の財政運営を見するための指標としては、自主財源比率とは別の指標で示すべき

と思うが。

A…市税収納率の向上などの市の努力目標も含めた指標であり、自主財源は現状並みで推移する目標と、普通交付税などの依存財源が減少して行くという厳しい見込みの中で、はじき出した数値である。

Q…中期財政見通しで5ヶ年を見据えた財政運営の方針として、単純に計画的な財政運営ということではなく財政の硬直化に至らないように、後年度の財政運営の困難性を招かないような財政運営に努めるといような補強をすべきであるが。

A…今後も厳しい財政運営が続くことが予想されるため、自主自立を目指して将来を見据えた安定的な財政運営を行うことが課題であり、社会情勢の変化や地方分権の進展に留意しながら、重点目標として中期財政見通しを作成し、多角的な財政状況を公表しながら向き合っていく。

このことについて質疑終結後、えびの市議会委員会条例に基づき、市長の意見や見解を求めました。

市長から、「将来を見据えた安定的な財政運営の確保については、事業の選択と集中、事業手法の改善など効率化やコスト削減などにより、今後の財政需要を的確に把握するとともに、国や県の動向などを勘案した歳入状況を見込み、合わせて自主財源を的確に確保し今後策定する。中長期的な展望に基づく財政計画により毎年度の予算編成や予算管理を行い、計画的かつ効率的な財政運営に努め、自主自立を図り、将来にわたって市民が暮らしやすいえびの市を目指すものである。後年度においても間断なく行政改革を推進して行くものである。」との答弁でした。

議案第35号平成29年度えびの市一般会計予算について

Q…心のふるさと寄付金報償金5,000万円の内容は。

A…平成29年度は楽天株式会社と

契約を結び、新たな間口を広げていく取り組みを行い、内容は返礼品代と送料である。

また本年度見込んでいる寄付金6億円のうち1億を楽天分として見込んでおり、その50%の5,000万円を計上している。

Q…寄付金や返礼品の業務について市内の企業で取扱い、定住移住につなげている自治体もあるようだが、地元雇用という観点からえびの市でも移行できないか。

A…寄付金については今年度も順調に伸びている。その大きな要因として全国的に知名度のある会社のサイトを通じて申し込まれる方が90%を占めており、現実的には外部の専門業者の方が効果的である。この制度を使った地元の雇用ということについては大変大事な視点であると考えているが、外部事業者を使って大幅に寄付が伸びたことに伴い、地元の企業の収益向上や、地元企業の増収部分には間接的に繋がっていると考える。

し尿処理費、美化センター運営費最終処分場運営費について

Q…し尿処理施設で3,997万1千円、美化センターで9,992万9千円、最終処分場2,004万9千円と毎年相当な金額の修繕費を計上しているが、それぞれの耐用年数はどれくらいか。

A…し尿処理施設、美化センターともに、10年は延命化した。最終処分場は平成43年までの計画を持っている。

子どもの貧困対策推進事業費について

Q…新規事業である子ども貧困対策推進事業について、協議会のメンバーと今後の推進の取り組みは。

A…子どもの貧困対策推進協議会のメンバーについては、現在ある子ども貧困対策推進計画策定

委員の一部の方に引き続き入っていたいただき、協議を進める予定であり、貧困対策がうまく進むように会議を重ねながら進めたい。

Q…子どもの貧困対策推進計画の中で、基本方針として、「支援ネットワーク体制づくり」・「健康・生活への支援」・「子どもの育ち・学びへの支援」を重点に推進していくとあるが、ネットワーキングが広がることにより、いろんな方が関わることによって子どもの人権・プライバシーについて心配されるが。

A…子どもの人権・プライバシーについては問題化とまらないように十分配慮しながら取り組んで行きたい。

予算審査特別委員会
委員長 上原 康雄

各視察・研修会等の報告

総務教育常任委員会 行政視察報告

今回、「地上式消火栓の設置について」を調査内容として鹿児島県湧水町の視察を行いました。湧水町では合併以前より地上式消火栓の設置・更新を実施されており、271基の消火栓のうち、地上式235基、地下式36基となっています。地上式消火栓には格納庫（消火閉閉金具1本・ホース4本・筒先1本）が併設されていて、消防署や消防団員だけでなく、地域住民や後方支援隊などが初期消火等に利用できるよう整備されています。地上式消火栓のメリットとしては、【①住民が初期消火に使える。②普段から目につきやすい。】デメリットとしては、【①用地関係（場所・面積等）。②コスト高（消火栓・50万円前後 ※水道管の引き込み延長等により金額の誤差はあるが、地下式より5～6万円程高くなる。格納庫一式・20万円）。】があげられました。地上式消火栓については、地域住民も使えるようにとの要望等

があり格納庫一式も併設していることから、初期消火のほか、交通安全対策や水利誘導、消防団との訓練実施など消化活動がスムーズに行える体制作りを依頼しているとのことでした。現在、えびの市内には地上式消火栓の設置箇所はありません。水利確保手段の一つとして検討の余地はあるかと思いますが、用地（特に民有地）・財源・管理等の課題もあることから、消防署や消防団、地域住民の意見を聞き、現状調査の必要があると考えます。

総務教育常任委員会

副委員長 遠目塚 文美



湧水町に設置されている地上式消火栓

産業厚生常任委員会 管内調査報告

平成29年2月14日に当委員会として、新しく開設されたえびの市起業支援センターへ視察調査を行いました。この施設は、市役所隣りの空き店舗に※①インキュベーションオフィス・と※②コワーキングスペースを開設してあります。そこでは起業家の誘致等を行い、その経済活動により地域経済の活性化を目的とし、創業支援や起業家育成などの事業に重点的に



起業家支援等を行うインキュベーション施設

取り組んでいくという説明を受けました。

施設内の配置としてコワーキングスペース（40㎡）を取り囲むようにインキュベーションオフィス（43㎡）16室があり、使用する方にとっては使いやすい配置になっています。視察時はまだマネージャーや事務員は不在であったが、今後の稼働状況を見守りたいと考えます。

高い志を持った仲間、ビジネスに最適な環境、寄り添い支える支援制度が起き上がりました。多くの結果を残せる起業家を期待します。

※①えびの市起業支援センターのこと

※②入居者や市民等が使用できるスペースのこと

産業厚生常任委員会

副委員長 山元 豪

西諸地区森林・林業・ 林産業活性化議員連盟 連絡会議 議員研修会 の報告

平成28年度の西諸林活議連研修会は、1月16日に小林市で開催されました。今回は林野庁九州森林管理局 総務企画部長の堂本整氏を講師に迎え、『林業の成長産業化への道筋』と題してご講演いただきました。当日は議員以外に、

西諸地域内外の林業関係者・団体等も出席されました。講話の中で林業の現状と課題、今後の展開など話されました。現在、戦後造成された人工林資源を中心に、西諸地域のみならず、国内の人工林は成熟期を迎え、資源循環（伐る・植える・育てる）の利用期が到来しています。成熟期を迎えたこの森林資源は、ご先祖がまだ見ぬ子孫のためにと植えて育てて下さった大切な宝です。私達がその恩恵を有り難く有効活用させていただくためには、人材（技術）・物（機械）・基盤（道路網）を整備し林業を復活させる必要があります。また、平成26年12月閣議決定さ

れた『まち・ひと・しごと創生総合戦略』のなかで「林業は、森林資源の循環利用を図りつつ、成長産業化を実現することが必要」と明記しており、国産材の安定供給（川上の策）と木材需要の創出（川下の策）により産業と雇用を創出することで、林業の成長化による地方創生にも期待出来ます。しかし、林業従事者の育成、再造林等の課題も多く、まずは現状や現場の声を把握し、将来を見据えた支援施策が何よりも重要だと考えます。

遠目塚 文美

宮崎県市長会研修会

平成29年2月7日、MR Tミツク2階のダイヤモンドホールにて、平成28年度第2回宮崎県市長会研修会が開催されました。講師は、東京大学教授で日本地震工学会会長であり内閣府参与でもある目黒公明氏による公演でした。

演題が「最近の地震災害を踏まえて、今後の地震対策のあるべき姿」でスライドを使った説明を受けました。第8部まで構成して

あり内容の濃い研修であり興味をもったのが第3部、首都直下の地震災害で怖いこと（津波災害以外で）というタイトルでした。本市は津波災害はないと思いますが直下型の大地震では、建物の下敷きになり、多くはその直後に亡くなるそうです。地震対策で最優先にすべき事は、建物の耐震性であり住家を壊れないようにすることだと学びました。防災対策の優先順位はまず自助、次に共助、そして公助であります。生命と安全の確保なくして集中力のある災害対策は無理とのことでした。

山元 豪

平成28年度えびの市教育 研修論文表彰式報告

近年、急速に進むグローバル化、情報化、少子化等社会構造が変化する中、価値観の多様化等に伴い、学校教育に対する要請も多様化している中、2月15日文化セ

ンターに於いて「平成28年度えびの市教育研究論文表彰式」が行われました。教育研究論文には小学校37本、中学校42本、合計79本の応募があり、表彰式及び発表の後、学力推進部会・英語教育推進部会・えびの学企画推進部会の報告会がありました。えびの市は教育基本方針の中で、きめ細かな指導ができ基礎学力の向上に期待できるとして、平成26年度から小中学校全学年において30人学級を実施しており、宮崎県内9市の中ではえびの市と串間市のみであります。先生方も自校の課題をそれぞれに抱えながら、多忙な中での研究論文作成も大変なことだろうと感じました。先生方の教育に対する情熱、勇断していけば必ず成果は出るものと思います。初心を忘れることなく努力されている姿に感謝し、次世代を担うえびの子ども達の更なる成長を期待します。「教育は人なり」であります。人は頭で理解し（理）、心で感じて（情）、行動に移す。この理と情が一致してこそ本物の行動となります。

総務教育常任委員長

小東 和文

一般質問

中央線の早期完成を



宮崎 和宏
議員

3月定例会では、14人の議員が登壇し、幅広く活発な議論がされました。その要旨を各議員が報告します。

計画を進めているところである。

質問 都市計画道路の中で、中央線は飯野五日市国道から京町の国道につながる市内南北の中間に通る計画道路でもある。現状、飯野高校前から池島までは完成している。それから先はどのような計画か。

建設課長 池島工区については、平成32年度より調査等を入れながら進めていく計画である。

質問 中央線の市長の考えは。
市長 この計画道路は一部変更部分があるかもしれないが、市の基幹道路として早期完成を目指す。

市長 報告書は上がってきているが、中身について調整が必要なので三月定例会中に報告する。

質問 都市計画マスタープランの道路整備については、十年かけて見直しするとあるが、その間は今までの計画を進めるのか。

建設課長 道路については、見直しするため関係自治会に出向いて現状説明しながら意見を聞き、



早期着工が望まれる中央線

部活動の安全対策について



北園 一正
議員

質問 上江小中学校が4月1日から施設一体型で開校する。中学部の部活動（野球、新体操、テニス）は、旧中学校の施設を利用して行うとのことであるが、部活動の指導体制や日照時間の短い冬季の安全対策について伺う。

教育長 中学生が部活動のために行き来する県道の歩道も完成した。移動時の安全対策については、学校関係者と協議を行い事故のないように対策を図る。また、テニスコートなどの安全性の確保は、照明灯を設置して事故のないように整備する。

質問 農用地の基盤整備については、新年度の施政方針で「畑かん事業、農地中間管理機構事業などを活用して推進する」と掲げているが、水稲や飼料作物の生産性

を高めるためには、水田の基盤整備は必要不可欠である。事業の進捗状況を伺う。

農林整備課長 水田の30a以上の整備面積は832ha、整備率38%である。上浦地区での説明会や、東原田地区での管理機構による基盤整備の同意取得などで、農地の基盤整備の推進が図られている。



通学時等の安全対策のため整備された歩道

霧島地区市道について



本石 長永
議員

質問 市道大迫霧島線道路拡張の進捗状況について、平成28年3月定例会に於いて、当年度予算にて道路全体の見直しを行い、その中で霧島地区市道の調査費として490万円を計上し進めていくと回答を頂いている。この件につき、現時点の進捗状況を尋ねる。

市長 霧島地区畜産団地はえびの市の貴重な畜産団地であり、この維持に必要な措置として、2、300万円を当年度予算で計上し、過疎対策事業として本工事・測量設計・用地買収を進めている。今後、計画に沿って進めていく。

質問 霧島地区の皆さんは現在、白鳥温泉上湯下の水源の簡易水道を利用しているが、水量が少なく非常に苦労されている。また、畜産団地としての機能低下は免れな



拡張整備が望まれる市道大迫霧島線

い。霧島地区に上水道を引く場合、出水地区から霧島営農センターまで5キロあり膨大な予算が必要と考えるがどの位の予算が必要か。
水道課長 概算で4億円以上を考えている。水道事業のシミュレーションを行い、市長の考えを反映させ検討を進めていく。

家畜伝染病予防対策



井上 義人
議員

質問 えびの市の家畜伝染病予防対策は充分なのか。

市長 市内には常設の消毒ポイントの設備はない。緊急時は消毒ポイントの候補地を選定している。速やかにマットや消毒機材の設置をし、消毒の対応にあたる体制が必要である。

質問 放課後児童クラブに関する施設整備は充分か。

福祉事務所長 放課後児童クラブは市内5ヶ所で開設している。4ヶ所は民間委託で、直営の1ヶ所は飯野小学校を借りて開設しているが、冷暖房や教室の整備が完全でない部分もあるので、学校側と協議して健全育成に努めたい。

質問 介護支援ボランティアにポイント制度の導入はできないか。
市長 現在サポーターを養成し

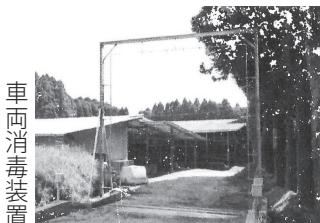
地域のいきいき事業を推進している。地域包括支援センターで総合的に介護サービス事業者等との意見の交換を行っている。施設側の受け入れ体制も整っていないので、平成29年度の制度の導入は見送ることにした。

質問 J R 吉都線の沿線に桜を植栽し、J R の存続を囀るべきではないか。

市長 J R 側も存続を促し、地域のおもてなしを求めている。市民が一丸となり存続に貢献することは重要なことであり、今後J R と話を進めたい。



踏み込み消毒槽



車両消毒装置

魅力的かつ実用性のある環境整備を！



遠目塚 文美
議員

質問 以前より提案している子どもの遊び場の整備について、道の駅えびのに併設した形で計画する考えはないか。

市長 道の駅えびのの増設については様々な観点から提案頂いている。今後計画している永山運動公園の拡張整備はえびの市民を対象としたもので、道の駅えびのでの遊具整備となると対象者が変わる。今後の道の駅えびのの在り方を幹事会や五者会議に提案していきたい。

質問 道の駅えびのに係る会議等で、子育て世代の皆さんの意見を聞く機会はあるものか。

市長 道の駅えびのの開発の中では聞いていないが、他の市内全体の環境整備等の意見はデータとしてある。



木の温もりに親しみ、感性豊かな心を育む木育（木製遊具）



質問 屋外だけでなく屋内でも遊べるよう併設した形で子育て支援拠点を整備し、保護者がゆっくり見守ったり、食育や木育を子供・推進出来るスペースを確保したりと幅広く集える施設を造ってはいかがか。今後の道の駅えびのの新たな基本計画策定の考えは。

市長 後年度を見据えた計画を出す必要があると考えている。

「道の駅を拠点としたまちづくり」構想について



小東 和文
議員

質問 道の駅を西側に拡張し広い駐車場を備え、レストラン・物産販売・子どもの遊び場・観光を含めた情報発信基地としての機能をフルに活用し拠点とすることでコミュニティバスの復活も可能だ。

市長 実証実験の結果、タクシー券で対応すると結論を出しているが、えびの市地域公共交通確保維持協議会で毎年検討している。道の駅西側開発については、道の駅機能とは別な形での開発の方法もあるというふうに思っている。

質問 障害者を持つ親の高齢化を考えた時、知的障害者・見向けのグループホームが必要である。

市長 行政としても必要性は強く感じている。運営主体となる皆さんとの情報を共有連携し、行政としてサポートを検討して行く。

質問 永山運動公園でのグラウンドゴルフ大会の延べ人数は昨年度は43大会・8,577人とのことだが、駐車場が狭く高齢者の方は大変困っている。

社会教育課長 現在、財源やその他の大規模事業を考慮しつつ再整備を計画している。駐車場拡張については整備計画の中で、具体的に検討したいと考えている。



道の駅えびのの拡張を求める

防衛予算の活用



蔵園 晴美
議員

質問 平成22年度から平成28年度までの防衛予算と新年度に見込まれる防衛予算交付による総事業費の内防衛交付額はいくらか。

基地・防災対策課長 平成22年(平成28年度事業総額19億7,366万2千円の内13億5,200万2千円が防衛交付金である。平成29年度は防災食育センター建設を含む事業費合計8億3,590万7千円のうち、防衛予算交付予定額が2億6,138万2千円。

平成29年(平成30年度の防災食育センター)建設事業については事業総額15億7,967万1千円のうち、防衛予算交付予定額は11億8,409万6千円となる。

質問 飯野高校生による研究発表が全国的高い評価を得ている。昨年は、京町温泉活性化アンケート

調査によるまちづくり。今年は「シカの資源化計画」全国2位に輝いた。ヒノヒカリの商品化についても、おはぎやライスコロッケを発表。このようなアイデアは高校生の起業に結びつく。保護者からも起業支援の声を聞く。行政として支援策はないか。

市長 全国的に高い評価を得ている。支援策については飯野高校・県と協議を進めてみたい。



重要な防衛施設の一つである霧島演習場

先を見据えた施策の展開について



栗下 政雄
議員

質問 岡元用水権利者の会設立について、市長は住民に十分な説明がないままに、市道を廃道にして売り渡した。水利権を持つ方達の立場になって十分考えていただきたい。

市長 市道としての機能はないが道路としての機能は残っている。岡元水利組合の皆さんからは赤子川堰まで行けるような要望があり、新しい取り付け道路の整備等を行っている。

質問 宮内水路の今後の状況について伺う。

農林整備課長 本年度業務委託については計画通り実施中である。今後事業申請を行っていくが、県とも協議しながら有利な事業で採択申請を行ってまいりたい。

市長 地元の負担が少なくなる

ように、しっかりと進めていきたい。
質問 亀城公園の案内標識を設置する考えはないか。
教育長 平成29年度の当初予算において、国道221号線沿いに2箇所設置する予定で予算計上している。



後世に伝えるべく亀城公園の史跡整備が望まれる

危機管理について



上原 康雄
議員

質問 通学路の安全対策が最重要である。危険箇所の確認などの定期的な現場の安全点検の実施状況は。

学校教育課長 通学路の安全点検は定期的に行っている。地域の協力・関係団体と合同での現場確認を行い、通学生の安全安心の確保を図る。

質問 二度とえびの市から口蹄疫を発生させないために防疫対策の強化が重要である。市民の防疫に対する意識の低下が心配される。さらなる指導の強化が必要である。今後の市の取り組みは。

畜産農政課長 家畜伝染病の発生を未然に防止するために、畜産農家・一般市民への防疫指導は最重要であり、関係機関と一体となって指導の強化を図り、市民の



通学路の安全点検

防疫に対する意識の向上に努める。
質問 公共施設の安全管理が問題視されている。公共施設の安全調査を定期的に行うことと事故等の未然防止につながると思う。市の取り組みは。
財政管理課長 公共施設の安全点検は定期的に行っている。市民の安心安全確保のために十分対策を進めている。

ワラビ取りや水路の管理権を守れ



西原 政文
議員

質問 北朝鮮の核実験や弾道ミサイル打ち上げは、断じて許せない。日本共産党を代表し抗議するものです。政府は、戦争を出来る事を可能とする安保法改正や機密保護法の法制化、戦争状態の南スーダンへの派兵をし世界に誇る平和憲法をも改正を言う。えびの市は、300人を超える自衛員と家族が居られ心配の声を聞く。原発の問題でも新潟県知事に続き伊万里市長も原発再稼働反対を言われた。国民の平和と安全を願い平穏な市民の暮らしを守る為、市長として国に声を上げるべきではないか。

市長 国の問題は意見を控える。
質問 霧島演習場は、わらび取りや水路の管理で入会権が有ったが、市道の売却後に立ち入り禁止

看板が設置された。撤去を求む。

市長 水路管理の上で苦情は、聞いていない。入会権など立ち入りも以前と変わらないと考える。

質問 全国での普及率が8%と言われるマイナンバー、情報流出などで悪用も心配される。個人番号カードが無い事で書類手続きや市民サービスで不都合があるか。
企画課長 本人の申請によるもので強制ではない。不利益もない。



えびの地震50周年シンポジウムを!!



山元 豪
議員

質問 施政方針にあったとおり、来年の2月21日でえびの地震の大きな節目を迎える。市では平成30年2月21日までに具体的な行事を予定しているか伺う。

基地・防災対策課長 市としてはシンポジウム等のイベントの開催に関して、各関係機関と協議していきたいと考えている。また、まちづくり協議会及び各自治会が行う防災訓練の中で地震に関する訓練等を取り入れていただくために支援・協力を行う考えである。

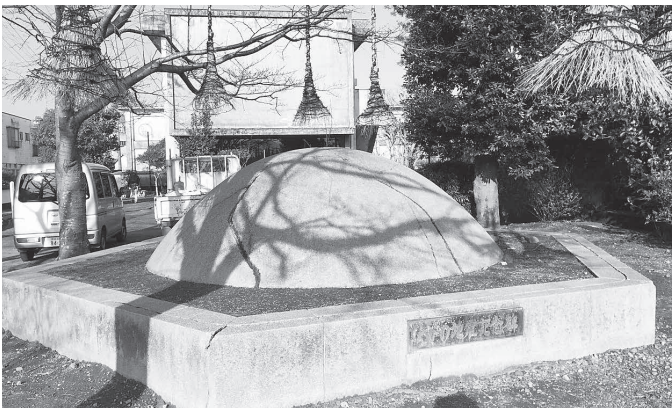
質問 京町温泉駅前整備について県道の拡幅は、計画どおり進んでいるのか。これからのスケジュールは。

建設課長 予定して駅舎が平成30年度で取り壊されるとの事で、それに合わせて今の駅前から国道

に向かっての工事を行う。またこの都市計画道路は、県道京町小林線の向江橋から銀天街の入口まで約400mであり、平成34年度まで事業認可がされており、その期間で全区間が終了すると思われる。

質問 観光交流センターは予定どおり建設、着工されるものか。

建設課長 本年度設計をしており予定どおり来年度建設する。



えびの地震記念碑

市職員向け認知症サポーター養成講座の開催について



西原 義文
議員

質問 当市での高齢化、認知症施策はどのように進めていくか。

介護保険課長 高齢化率が高い本市でも認知症高齢化が予想される中、たとえ認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりは重要である。

質問 認知症対策の取り組みは。

介護保険課長 現在取り組んでいるいきいき百歳体操も有効と考えている。筋力トレーニングの効果は認知機能の向上にも繋がる。週一回の参加は閉じこもり予防にもなり、認知機能低下の抑制にもなる。今後は関係機関とも連携しネットワーク作りをして行く。

質問 市職員向け認知症サポーター養成講座を開催する考えは。

市長 多くの方が認知症への理解や対応など事前に学んでもらう

ことが重要であり、職員も地域の活動に参加する機会もある。認知症の対応を含めて職員にも研修を行うように指示を出す。

質問 市内小中学校での認知症理解のための講座の開催の考えは。

教育長 介護、介助の学習を設定している。生徒が認知症を含む高齢者に対する理解を深めるような教育を推進したいと考えている。



認知症に対する正しい知識と理解を持ち、認知症高齢者等に優しい地域作りに取り組む

手話言語条例の制定を！



田口 正英
議員

質問 手話通訳者の庁舎内設置に向けて今後取り組む考えはないか。

市長 視聴覚障害者の方が安心して市に相談に来られる環境整備は、手話通訳者の協力を得ながら職員のスキルを上げていかなければいけない。今後協会と調整しながら対応していく。また視聴覚障害者の方のみならず障害を持った方の社会進出は歓迎しなければいけないので早急に取り組んでいくつもりである。

質問 えびの市における「手話言語条例の制定」に取り組む考えはないか。

市長 手話言語条例は手話を使う市民が手話でコミュニケーションしやすい地域社会をどのように構築していくかという事について



市の基本姿勢を示す理念条例である。条例制定に向けては視聴覚障害者の方々との意見交換が必要であり、また市民も共有しながら予算化も含めた提案が出来るよう取り組んでいく。

質問 県道403号線の拡幅については早急な対策が必要であるが、今後どのような対応をしているのか。

市長 今後も採択に向けて強力に要望活動が続けていく。

「今ある最有力候補地」を活かす雇用の創出こそが市民の求める、ふさわしい姿



池田 孝一
議員

質問 西郷工業団地を推進する

なら、まずその前提となる判断根拠を示せと言ってきた。市長は、それを示さず、ハード面の計画である「基本計画」を予算化し、この基本計画の完成に併せて三つの「重要判断項目」も一緒に示すと約束し、判断材料を示す時期が来たことになる。いつ示せるのか。

企業誘致対策監 関係課と協議し検討を進めている。(資料提示)

質問 資料では、市財政の検討は先月2月4日に1回検討されているだけだ。約束を守ってほしい。

市長 議会も将来に向けた本市財政シミュレーションを求めている、今打つ手は何なのか説得力ある中身に仕上げ説明したい。

質問 今打つ手と言われたが、

では「今ある最有力候補地」の九州パーミス跡地への企業進出の取り組みはその後どうなっているか。

企業誘致対策監 昨年12月以降、協議中の企業と具体的な話ができています。進展している。

市長 九州パーミス跡地は、次のステップとして企業誘致を発信するためにも慎重かつ積極的に進め、1日でも早く議会に報告できるようにしたい。



企業誘致の最有力候補地である九州パーミス跡地のセルス力に期待

議会改革等調査特別委員会中間報告

第1分科会



議員報酬・議員定数について調査議論しています。

平成29年1月24日に市民団体の代表と意見交換をしました。

まず、議員定数についての意見は、

①自治会長間の話では議員の仕事が目に見えない。現状維持か人口減になれば13人が適当ではないか。

②他市町村を比較して縮少方向になるのであれば減らすべきではない。若い人が出馬できなくなると思う。
等の意見が出ました。

議員定数は、議員の中で現状維持・削減という意見があり判断は難しく、早急に分科会を開

き方向性を決めて自治会の新体制のもと意見などを聞きたいと思います。

つぎに、議員報酬についての意見は、

①議員が365日の中でどのくらい仕事をしているのか解らないので、30万4千円が高い、安いとは解らない。

②もらい過ぎだと思っていたが、自分たちの給料と比べれば相応と思う。私たちでは金額は決められない。

③報酬は議員が決めるべきだ。等の意見が出ました。

市民団体の意見を踏まえて、議員自ら判断するため引き続き調査を行うことに決定しました。

第2分科会



政務活動費、議会報告会についての2つのテーマのうち、政務活動費を先行して調査議論しました。

議会活動の公務に要する経費とは別に公務外の活動費として交付されています。

近年、他議会において政務活動費の不正流用・虚偽事案が発生しています。

当議会でも住民監査請求を受けた経緯がありますが、不正行為の指摘や疑念を受けるには至りませんでした。以上のような状況・背景を踏まえた改革点を報告します。

①宿泊料の改革で、市の旅費条例で定める懇親会を除く夕食代(3,000円)・昼食代(1,000円)など対象経

費から削除する。

②事務所費の備品購入については事務所内に設置する備品に限定し、その他の備品購入やレンタル経費などを削除する。

③資料購入費については、会派(1人・複数会派)における購入を各議員が購入できるようにする。

④研修等の収支・報告書については、結果・成果及び活用を重要報告と位置づけ、様式の改善をする。事務局で原本を保管し、市民がいつでも閲覧できるようにする。

⑤交付額1万5千円は、当面現行の交付額、一括申請、半期ずつ交付の概算払いで年度末に精算することにする。
以上、中間報告といたします。

議会改革等調査特別委員会

委員長 蔵園 晴美

お詫び

前号111号の中で「来年6月定例会」とありましたが、正しくは「平成29年6月定例会」です。訂正してお詫び申し上げます。

議員別表決

「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否がわかれたもののみを掲載しています。）

議案番号	議員名	議員名													採決結果		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		14	15
件名		竹中	遠目塚	山元	小東	田口	井上	北園	上原	池田	本石	西原(義)	西原(政)	蔵園	宮崎	栗下	
議案第17号	えびの市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	原案可決
議案第35号	平成29年度えびの市一般会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	平成29年度えびの市国民健康保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	平成29年度えびの市介護保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳第13号	平成22年度から、えびの市国際交流センター内で運営されていた自然食レストラン「のどか」について別紙の様々な疑念を調査、解明するため地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書		●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	不採択

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません



議会日誌

24日	議会改革等調査特別委員会 (第2分科会)	27日	3月定例会開会
18日	議会改革等調査特別委員会 (第1分科会)	26日	平成28年度生涯学習振興大会 「2016」祝賀会
17日	議会改革等調査特別委員会 盟講演会	22日	議会運営委員会
16日	林業・林産業活性化議員連 盟講演会	20日	議会改革等調査特別委員会 全員協議会
13日	平成29年度西諸地区森林・ 安全のつどい	16日	行政視察（茨城県守谷市議 会）来庁
11日	議会改革等調査特別委員会 (第2分科会)	15日	議会改革等調査特別委員会 (第2分科会)
8日	平成29年えびの市消防出初式	14日	産業厚生常任委員会・所管 事務調査（産業厚生常任委 員会）
5日	平成29年えびの市成人式	13日	所管事務調査（総務教育常 任委員会）
27日	議会広報常任委員会 (第2分科会)	8日	行政視察（千葉県袖ヶ浦市 議会）来庁
22日	議会改革等調査特別委員会 (第2分科会)	7日	平成28年度第2回宮崎県市 長会研修会
21日	西諸地区森林・林業・林産業 活性化議員連盟連絡会議	6日	議会改革等調査特別委員会 (第1分科会)
19日	議会改革等調査特別委員会	3日	第25回入権について考える 県民の集い
15日	中国吉林省長春市代表団え びの市表敬訪問の昼食会	3日	第25回入権について考える 県民の集い
14日	議会運営委員会	3日	第25回入権について考える 県民の集い
12日	議会運営委員会	3日	第25回入権について考える 県民の集い
8日	全員協議会	3日	第25回入権について考える 県民の集い

編集後記

議会広報常任委員会として、議会だよりの編集も15回となりました。編集の仕事は、原稿作りや写真撮り、レイアウトを考えたり、校正を行ったり、様々な仕事があります。大変な作業ですが、真幸中学校PTA新聞が毎日新聞社主催の第37回宮崎県PTA新聞コンクールにおいて、最優秀賞を受賞しました。昨年に続き2連覇の快挙です。地元の中学校PTA新聞が素晴らしい結果を残してくれました。

同じ編集委員としてこの事に刺激を受け努力を続けてまいります。今後ともより多くの皆さんに読んでいただける広報誌となるため、広報委員会一丸となって頑張つてまいります。

議会広報常任委員会

山元 豪